

2011 年 8 月 4 日 TANAKA ホールディングス株式会社

日本初、田中貴金属工業が白金とパラジウムの 分析技術に関する ISO/IEC17025 を認定取得

自動車廃触媒や中古宝飾品などからのリサイクル供給増加を視野、分析の国際標準統一へ

TANAKA ホールディングス株式会社(本社:千代田区丸の内、代表取締役社長:岡本英彌)は、田中貴金属グループの製造事業を展開する田中貴金属工業株式会社(本社:千代田区丸の内、代表取締役社長:岡本英彌)の分析センターが、日本で初めて、白金およびパラジウムの分析技術に関して、ISO/IEC17025:2005の認定を取得したことを発表します。

今回の認定は、白金およびパラジウム中に含まれる微量金属類の定量分析技術と分析結果の再現性において、<u>当社の保有する分析技術が国際規格に準拠していると認めるもので、日本で初めての認定取得</u>となります。ISO/IEC17025 は、試験又は校正を行う能力に関する一般要求事項を規定する国際規格で、ISO9001 に代表されるマネジメントシステムの運営に加え、非常に厳格で適切な分析能力が要求されます。今回の認定取得により、田中貴金属工業は、国際規格に準拠した分析値を持つ白金とパラジウムの分析用固体標準物質 (※1) を製造することが可能になりました。溶解業者など分析を行う顧客企業や団体は、これまで以上に高い信頼性のもと、白金とパラジウムを分析・使用することができます。

■貴金属分析の現状

田中貴金属工業では、昨年8月、金中に含まれる微量金属類の分析技術に関する ISO/IEC17025 の認定を白金とパラジウムに先立って取得し、金の分析用固体標準物質を提供する体制を整えています。しかし、貴金属業界全体を見ると、分析技術の世界標準化に向けて取り組みが進む一方、現状は統一規格が定まらないまま、各社・団体の標準物質に基づいて、貴金属の分析が行われているといった課題が残っております。

特に、白金とパラジウムについては近年、貴金属価格の高値推移が続く中、鉱山からの供給以外に、使用済み自動車触媒や中古宝飾品などからのリサイクルによる供給が増加傾向にあります。こうした製品から精製された地金は、より多くの元素について不純物濃度の分析が必要であるなど、品位保証に対してこれまで以上に高い信頼性が求められます。

■世界標準への挑戦

LPPM (※2) の公認審査会社である田中貴金属工業ではこれまで、白金およびパラジウムについて、極めて高い分析技術を提供してまいりました。今回の認定取得は、これらの分析技術が国際レベルで認められたことであり、白金およびパラジウムに関する品位保証の世界標準化に貢献することが期待できます。

現在、自動車触媒や液晶ガラス、燃料電池、宝飾品などに使われている白金と、自動車触媒や コンデンサー、歯科材料などに使われているパラジウムは、産業用と宝飾用ともに高い需要を維 持しています。田中貴金属工業では、貴金属の中でも特に需要の高い金と白金、パラジウムの分 析技術を向上させることを第一に進め、将来的には貴金属全体における分析技術および品位保証 の世界標準化を実現できるよう、品質向上に努めてまいります。

※1【標準物質】

機器の校正、測定法の評価、測定対象物質の値付け(分析)に用いるための単一、あるいは複数の特性値が確定された均一な物質のこと。各種化学分析等において定量的な目盛の役割を果たすと共に機器の使用条件、特性、分析者の差違等を補正する役割を担う。



白金(左)とパラジウム(右)の標準物質

%2 [LPPM]

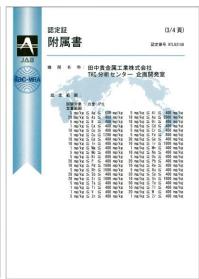
ロンドン・プラチナ・パラジウム・マーケット (The London Platinum & Palladium Market) の略。 白金とパラジウムのトレーディングを適正におこなうことを目的とし、公認溶解業者を登録認定 する世界で唯一の権威ある機関。公認審査会社は現在5社あり、日本では当社が唯一。

<ISO/IEC17025 認定書>











■TANAKA ホールディングス株式会社(田中貴金属グループを統括する持株会社)

本社:東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表:代表取締役社長 岡本 英彌

創業: 1885年 設立:1918 年 資本金:5億円

グループ連結従業員数:3,441 名(2009 年度) グループ連結売上高: 7,102 億円(2009 年度)

グループの主な事業内容: 貴金属地金(白金、金、銀ほか)及び各種工業用貴金属製品の

製造・販売、輸出入及び貴金属の回収・精製

HPアドレス: http://www.tanaka.co.jp

■田中貴金属工業株式会社

本社:東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表:代表取締役社長 岡本 英彌

創業: 1885年 設立:1918年 資本金:5億円 売上高: 3,888 億円 (2009 年度) 従業員数:1,599 名(2009 年度) 事業内容:貴金属地金(白金、金、銀ほか)及び各種工業用貴金属製品の製造・販売、

輸出入及び貴金属の回収・精製 HP アドレス: http://pro.tanaka.co.jp

<田中貴金属グループについて>

田中貴金属グループは 1885 年(明治 18 年)の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い 活動を展開してきました。2010年4月1日にTANAKAホールディングス株式会社を持株会社(グ ループの親会社)とする形でグループ再編が完了しました。ガバナンス体制を強化するとともに スピーディーな経営と機動的な業務執行を効率的に行うことにより、お客様へのより一層のサー ビス向上を目指します。そして、貴金属に携わる専門家集団として、グループ各社が連携・協力 して多様な製品とサービスを提供しております。

国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇る田中貴金属グループでは、工業用貴金属材料の開発 から安定供給、装飾品や貴金属を活用した貯蓄商品の提供を長年に渡り行ってきました。今後も 貴金属のプロとしてグループ全体で、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。田中貴金属グ ループの中核8社は以下の通りです。

・TANAKA ホールディングス株式会社(純粋持株会社)

田中貴金属工業株式会社

・田中貴金属インターナショナル株式会社

·田中貴金属販売株式会社

・日本エレクトロプレイティング・エンジニヤース株式会社 ・田中電子工業株式会社

・田中貴金属ビジネスサービス株式会社

・田中貴金属ジュエリー株式会社